



2018年9月号 (NO.104)

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 TEL 0827-52-5338

お知らせ

*9月28日(金)は月末整理日のため休館
します。



9月 (Sep)						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

←○はお話会・■は休館日です

☆開館時間

火～土 10:00～18:00

日 9:00～17:00

☆貸出冊数 1人8冊

(うち AV 資料 2 点)

☆貸出期間 2 週間

ホームページ

<http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>



おはなし会

☆おひざにだっこのおはなし会
(赤ちゃん向け)

9月14日(金) 10:30～
図書館2階ギャラリー3



☆親子で楽しむおはなし会
(1歳以上向け)

9月14日(金) 11:00～
図書館2階ギャラリー1

☆おはなし会

9月15日(土) 11:00～
図書館1階おはなしの部屋



大人向けイベント 「懐かしの流行歌～国立国会図書館歴史的音源を聴く～」を開催します

日時：9月27日(木) 時間：10:30～11:30 場所：大竹市立図書館2階ギャラリー3

夏休み子ども司書&中学生キャリアスタートウィーク ～図書館の仕事をいろいろ体験しました～



9月の展示 ★

■一般

手づくりを楽しもう

*「てづくりお香教室」

松下 恵子/監修 日東書院本社

お香の「知る」「つくる」「使う」楽しみを提案。伝統的な16の香料、気分別・場所別の香りのレシピや、つくりかたの手順をていねいに解説するほか、聞香、香りの歴史も紹介します。

■児童

おしごといろいろ

*「ソーリ!」

濱野 京子/作 くもん出版

小学校1年生の夏。学童保育クラブでセタかざりをつくったとき、短冊に「ソーリだいじんになりたい」と書いた照葉(てるは)。「女のくせに総理大臣なんておかし」と笑われてから、将来の夢を語れなくなった。そして、小学校5年生になった照葉は、ひょんなことから後期の学級委員に選ばれて…

■時事

動物愛護週間 命を大切に

*「命を救われた捨て犬夢之丞」

今西 乃子/著 金の星社

泥にまみれて広島で救助活動を行った1匹の災害救助犬。「夢之丞」という名のその犬は、殺処分寸前で救われた犬だった。

おくびょうで人をよせつせず、散歩すら苦手。食べ物への欲もなかったこの子犬は、やがて新米ハンドラーと共に訓練をこなし、災害救助犬「夢之丞(ゆめのすけ)」として新たな一歩をふみだした…。

新しい本

*貸出中の本は予約することができます。
ご予約は、来館・インターネット・お電話にて承ります。
詳しくは、図書館カウンターまで。



紹介



学校に行きたくない君へ
全国不登校新聞社/編 ポプラ社

生き続けなきゃもったいない! 不登校の若者たちが体当たりで引き出した、樹木希林をはじめとする人生の先輩たち 20 名の本音のインタビュー集。



みえるとかみえないとか
ヨシタケシンスケ/さく アリス館

宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは、目が3つあるひとの星。普通に行っているだけなのに、「後ろが見えないなんてかわいそう」なんて言われて変な感じ…。ヨシタケシンスケが伊藤亜紗に相談しながらつくった、違いを考える絵本。

一般

【日本の小説】



☆彼女は頭が悪いから 姫野 カオルコ/著 文藝春秋

劣等感、格差意識。そして起こった集団わいせつ事件。しかし、世間に叩かれたのは被害者のほうだった…。

【歴史】

☆世界から消えた 50 の国 ジョン・ベルゲ/著 原書房

数年から数十年といった短い期間のみ実在し、そして消えた 50 の国を紹介。知られざる国の運命を記す。

【自然科学】

☆ツチハンミョウのギャンブル 福岡 伸一/著 文藝春秋

4 千匹のうち生き残れるのは 1 匹か 2 匹。壮絶なギャンブル人生に比べたら、私たち人間なんて-

【外国の小説】

☆セーヌ川の書店主 ニーナ・ゲオルゲ/著 集英社

船上で、悩める人々に本を“処方”する書店主ペルデュ。ある古い手紙から、心の傷を治す船出を決意する。

こどもの本

【自然科学】

☆星空を届けたい 高橋 真理子/文 ほるぷ出版

病院や被災地へ移動式プラネタリウムを持って全国をまわる著者が、その活動や思いを語る。

【日本のおはなし】

☆十年屋 廣嶋 玲子/作 静山社

捨てられないもの、捨てたくないものを 10 年間、魔法で預かる「十年屋」。対価は寿命 1 年です…。

【絵本】

☆ふねのとしよかん いしい つとむ/作 文研出版

川の流れて進むふねの中は、本がいっぱい。船長さんが、本当にあったというお話を聞かせてくれて…。

【ティーンズの本】

☆ぼくがスカートをはく日 エイミ・ポロンスキー/著 学研プラス

ぼくは、本物の女の子になりたい。自分らしく生きる道を選択した、トランスジェンダーの少年の姿を描く。

*この他にも、新刊本が入っています。大竹市立図書館のホームページまたは、館内の新刊案内をご覧ください。

